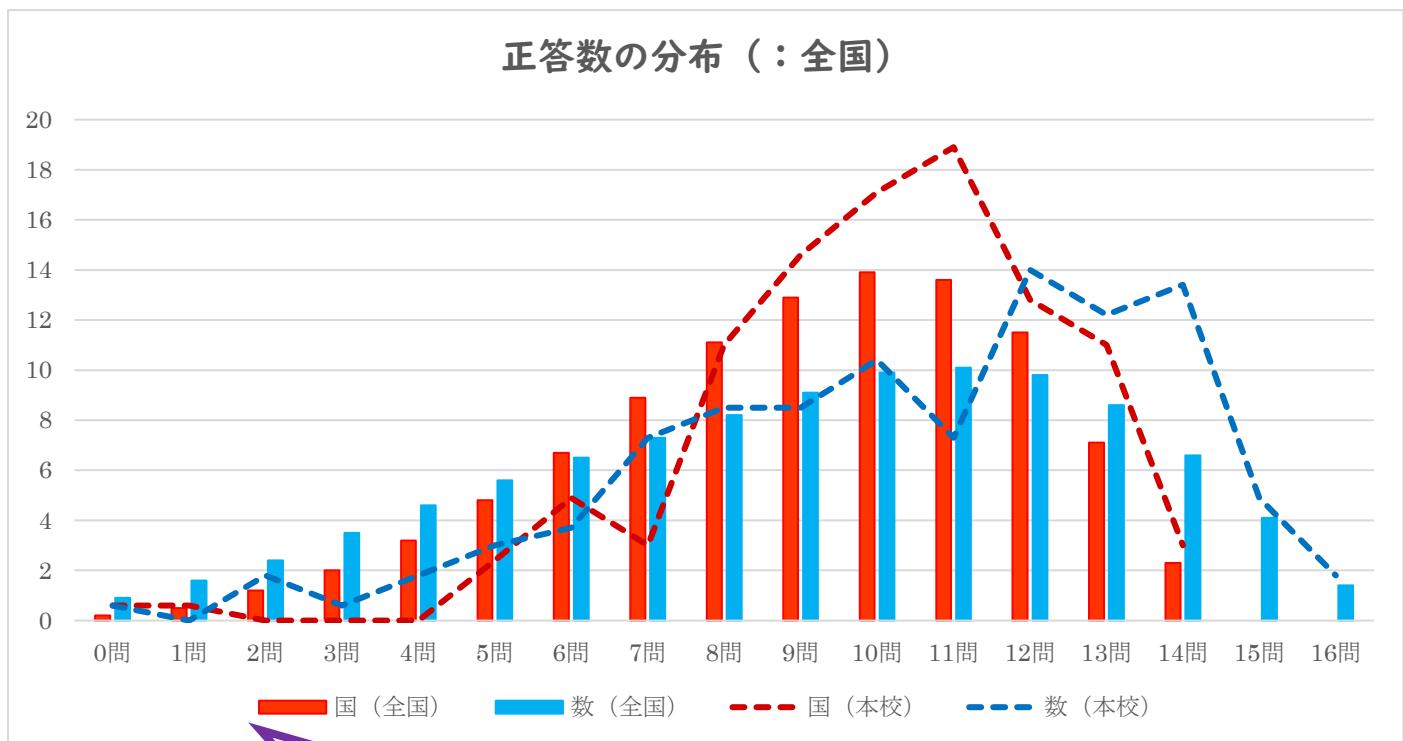


○正答数の分布



国語も数学も全国平均を上回る好成績でした。設問ごとにみても、全て全国平均を上回っています。無解答率についても国語数学ともに全国平均を下回っており、問題に対して意欲的に取り組み、しっかり実力を発揮できた結果だったといえます。

正答数の分布をみると、国語は中央値（10.0）を少し越えた付近をピークに数が集中し、全体的にあまり差ができるていないことがわかります。学年全体として力をつけることができてきた結果と言えます。

数学は中央値（11.0）を境に、分布がやや2極化を示しているのが気になります。得意不得意が表れやすい教科でもありますが、どのような点が苦手なのかを把握するために、今回のテストで間違った設問の意図を確認し、苦手克服に活用するとよいでしょう。

○正答率が 50%を下回った設問（国語）

(1) 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する設問。 (正答率 28.7%)
…書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く力

(2) 「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する設問。 (正答率 42.7%)
…文脈の中における語句の意味を理解する力

(3) 「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く設問。 (正答率 31.1% 無解答率 5.5%)
…文章の中に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ力

(4) 「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する設問。 (正答率 44.5%)
…相手や場に応じて敬語を適切に使う力

(1) は「推敲」の問題です。言いっぱなし書きっぱなしではなく、日ごろから自分の使う言葉に注意を傾けたり、振り返って修正したりすることを心掛けるとよいでしょう。

(2) (3) は夏目漱石の「吾輩は猫である」からの問題でした。今的小説と違い、明治時代の文章はかなり読みづらかったのではないかでしょう。森鷗外や夏目漱石といった、いわゆる「文豪」の文章は、みなさんにとって古典に近い感覚かもしれませんのが、中3の教科書には必ずこの時代の作品が取り上げられています。

(2) 「呼吸をのみこんだ」は文中で「コツをつかんだ」の意味で使われていましたが、「発言をひかえた」という解釈をした人が多く、十分に文脈を理解できていなかったことがうかがえました。

(4) 「行く」を「いらっしゃる」などに直すことはできいても、それが尊敬語なのか謙譲語なのか、正しく答えられなかった人も多かったようです。何となく丁寧な言葉、という理解ではなく、相手や場面に応じて敬語も使い分けられるようにできるといいですね。

○正答率が50%を下回った設問（数学）

(1) 四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する設問。 (正答率 36.6% 無解答率 12.2%)

…数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる力

(2) 与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する設問。

(正答率 35.4% 無解答率 10.4%)

…与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる力

(3) 2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いることの前提となっている考え方を選ぶ設問。

(正答率 42.1%)

…相対度数の必要性と意味を理解している

(4) 「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する設問。 (正答率 14.0% 無解答率 13.4%)

…データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる力

(5) $\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く設問。 (正答率 40.2% 無解答率 8.5%)

…ある条件の下で、いつでも成り立つ图形の性質を見いだし、それを数学的に表現することができる力



(1) 数の規則性の理解、(2) (4) グラフの読み取り、(3) 相対度数の意味、
(5) 図形の性質など、問題の種類は様々ですが、全体の傾向として、物事の性質や傾向を的確に読み取ったり、数学的に解釈をしたりしたうえで、それを数学的に表現する力が試された問題で、正答率が半数を下回っています。

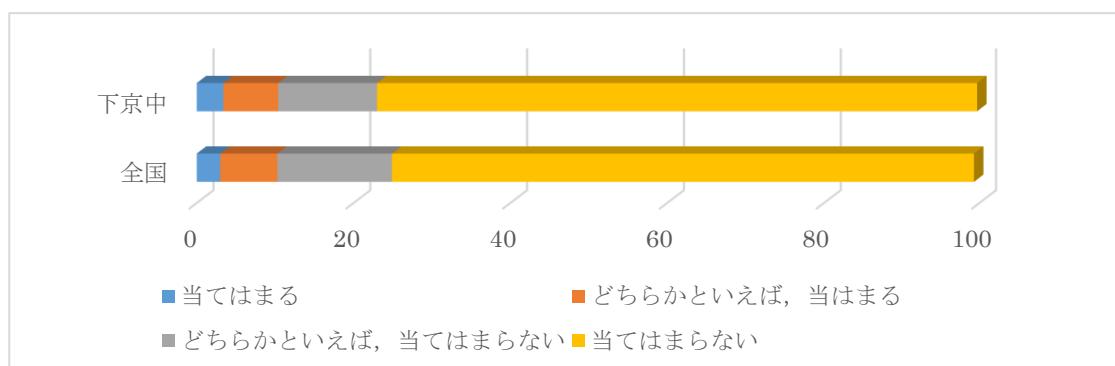
特に、数学的な表現を求められた記述問題では「無解答率」（答えずに白紙で出した人の割合）が高い傾向も見られました。無解答率10%以上ということは、クラスに3人くらい書かずに出した人がいるという状態。少し気になります。

数学は、問題の解き方を身に付けるだけでなく、どうしてそうなるのか、式やグラフにどのような意味があるのか等、日ごろから考えながら解く習慣をつけられるとよいでしょう。同時に、数学でよく使う語句や言い回し、いわゆる「数学的な表現」にも意識を向けながら授業に臨んでみてください。

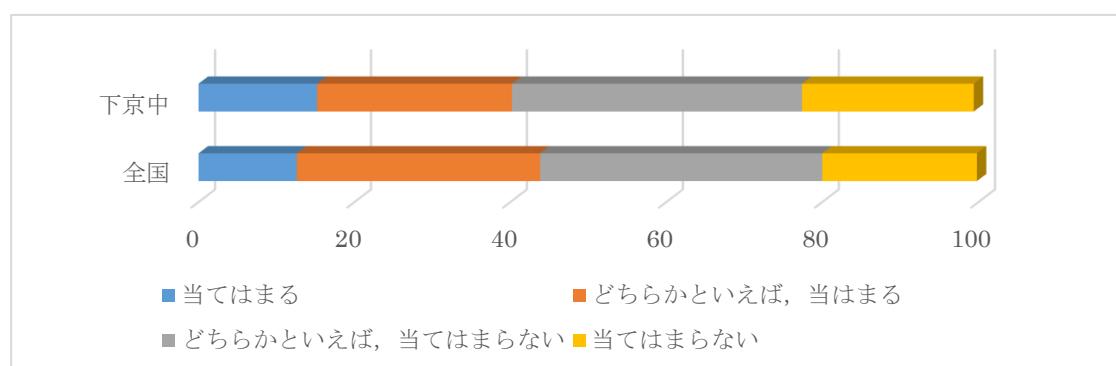
○生徒質問紙から見える「下京中学校3年生」

新聞を読むことがほとんどなく、身の回りの地域や社会に目を向けることが全国と比べても低めです。地域のために…と考えることも、実はそれほど多くありません。

(23)新聞を読んでいますか。



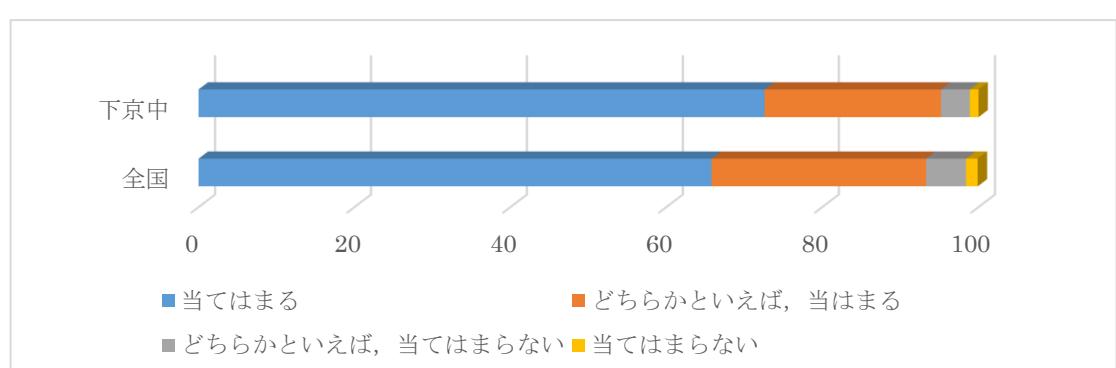
(25)地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。



ニュースや新聞に目を通すことは、自分の視野を広げることにもなります。その習慣ができると、社会のことについて考える機会も増えるのではないかでしょうか。この次の項目にある「人と協力すること」「人の役に立つこと」にも、身の回りの現実を知ることは重要です。

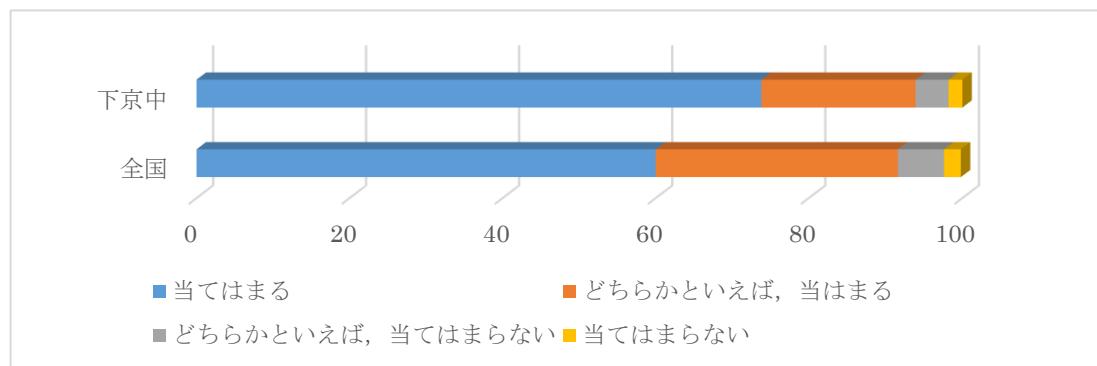
人と協力することの大切さをよくわかっています。

(16)友達と協力するのは楽しいと思いますか。

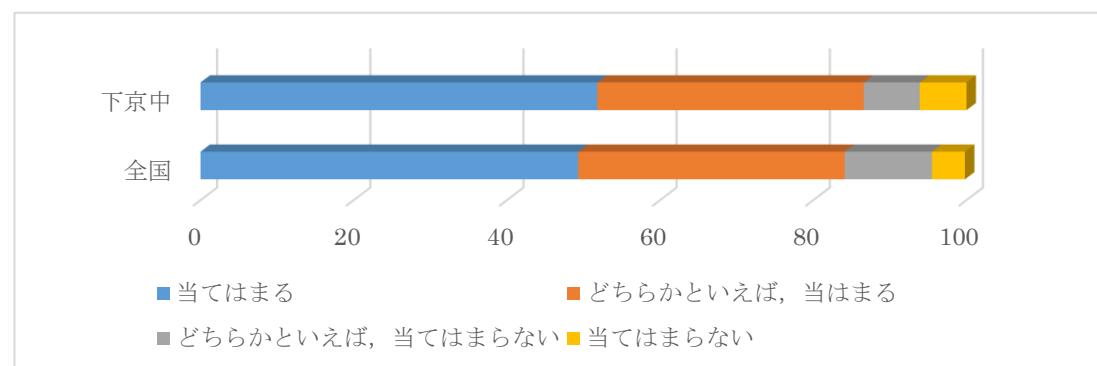


勉強も、大切だと思っています。

(44)国語の勉強は大切だと思いますか。

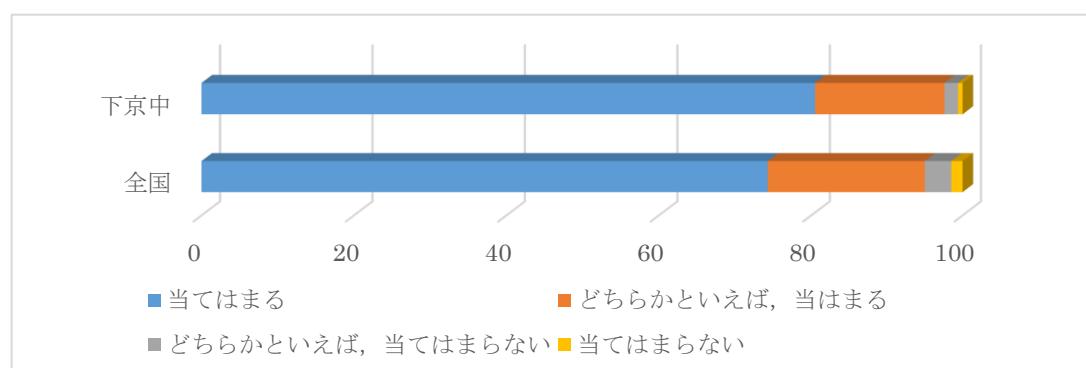


(53)数学の勉強は大切だと思いますか。



人の役に立ちたいとも考えています。

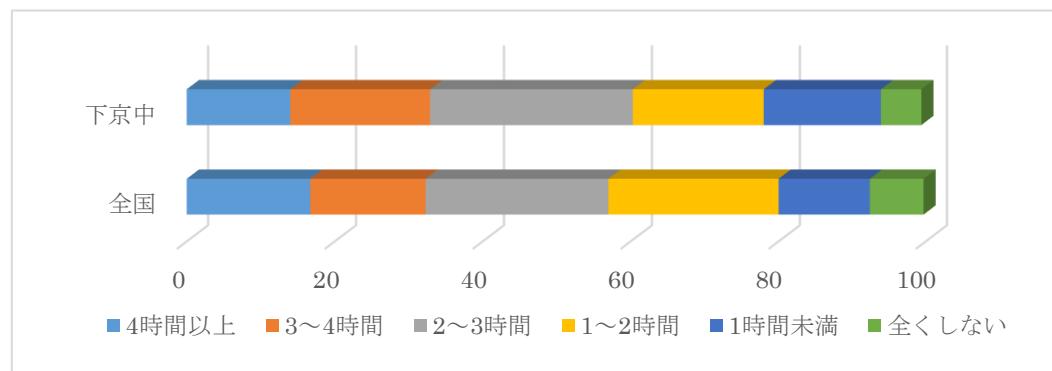
(12)人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



人と協力することの大切さ、勉強の大切さを全国を上回る割合の人がわかっていることが、はっきりとかがえる結果です。みんなさんの誠実でまじめな一面ですね。
「人の役に立ちたい」という今の気持ちを忘れずに、社会で活躍できる人に成長してくれることを願っています。

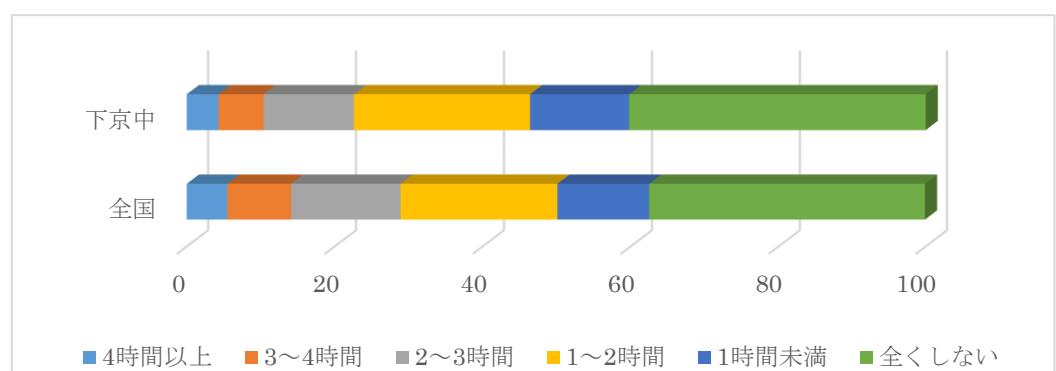
ただ、平日かなり長時間ゲームをしているせいか、

(5)普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます）をしますか。



本を読む時間はあまり多くありません。

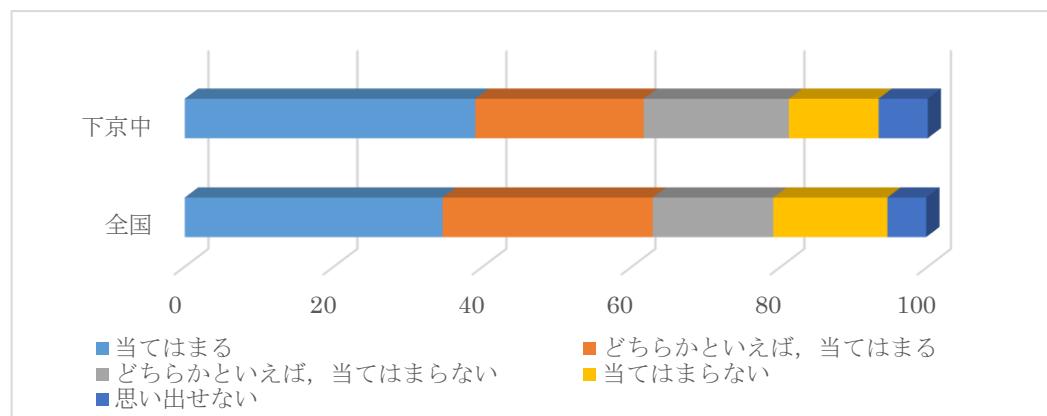
(21)学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



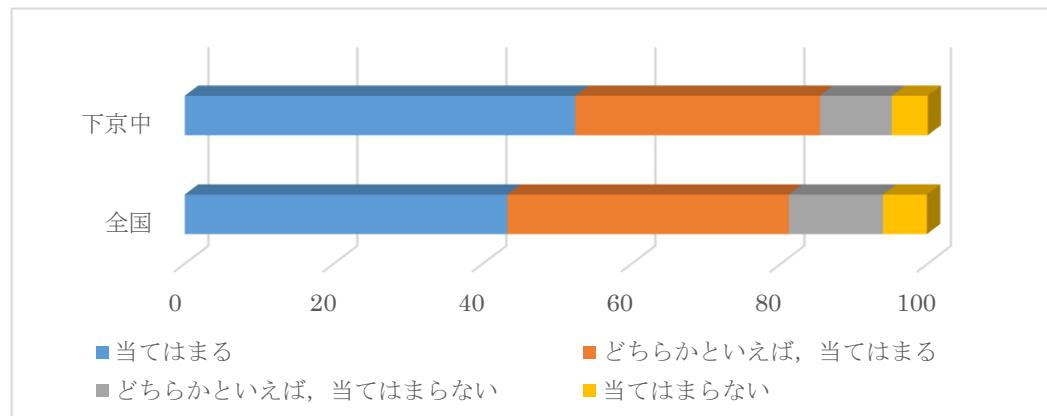
平日に2～3時間以上ゲームをしている生徒が半数を超えるました。
その一方で、平日に全く本を読まない生徒も半数を超えています。
学校から帰って寝るまでの限られた時間の過ごし方については、一度見直してみてほしいと思います。

コロナ禍を経て、いろいろな不安を抱えていた生徒が多かつたようです。
でも今、学校に楽しく通っている生徒が 80% を超えています。

(64)新型コロナウィルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。



(13)学校に行くのは楽しいと思いますか。



新型コロナウィルスの感染が社会にもたらした影響は甚大です。
年齢を問わず、私たちは生活を大きく変えざるを得ませんでした。
不安なことも心配なこともまだたくさんあると思いますが、生徒のみなさんの
80%以上が楽しく登校してくれていることに、すこしホッとしています。
卒業まであと半年、1, 2年生も含めて楽しく安心して過ごせる学校づくりのために、
さらに努力したいと思っています。

